

カンタン操作ガイド

枕を外して、椅子にお座りください。

ワンタッチ選択コース

- 1 **入/切** を押します。(脚部が自動的に上がります。)
- 2 背部と脚部をお好みの位置へリクライニングさせてください。
背部：リクライニングの **▼** で倒れ、**▲** で起き上がります。
脚部：脚部の **▼** で下がり、**▲** で上がります。
- 3 **標準** **極** **ソフト** のいずれかを押します。
・体形検出(3Dポイントナビ)が始まります。
- 4 **決定** を押すと、マッサージを開始します。
※ **決定** を押すまで、マッサージは始まりません。

目的によってコースの強さが選べます

強め
↑ ↓
弱め

- ・極メカコース
- ・標準コース
- ・ソフトコース

※コース時のメカやエアアの強さ調節は裏面をご確認ください。

自動コース

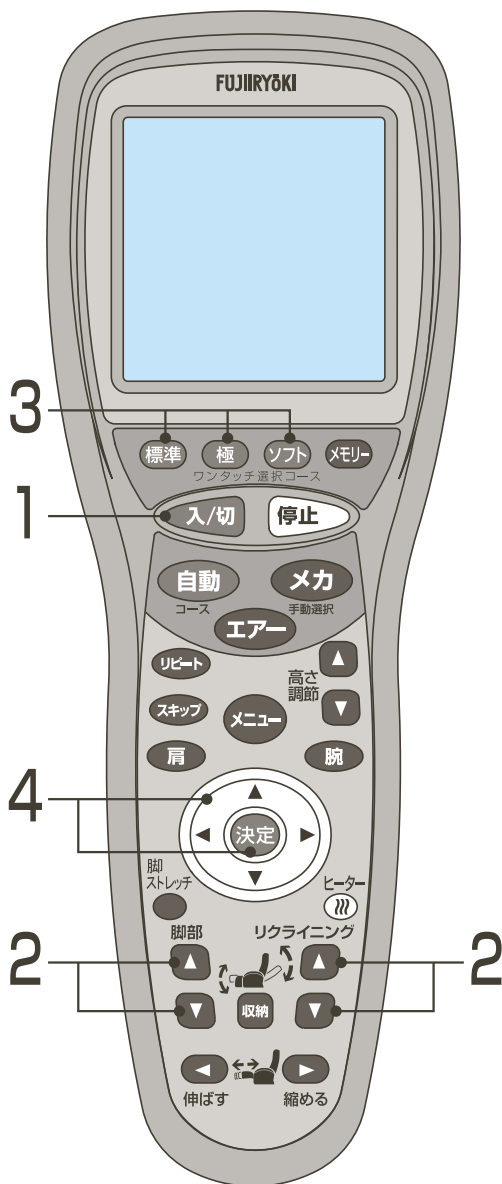
- 1~2の操作をした後、
- 1 **自動** を押し、**決定** をお好みのコースを選択し、**決定** を押します。
・体形検出(3Dポイントナビ)が始まります。
 - 2 **決定** を押すと、マッサージを開始します。
※ **決定** を押すまで、マッサージは始まりません。

目的によってコースの強さが選べます

強め
↑ ↓
弱め

- ・[極]疲労回復コース
- ・疲労回復コース
- ・リフレッシュコース
- ・やすらぎコース

※コース時のメカやエアアの強さ調節は裏面をご確認ください。



自動コース動作中の調節

メカ(もみ玉)によるマッサージの強さを調節

メカ(もみ玉)の強さを調節し、決定を押す。

エアによるマッサージの強さを調節

エアの強さを調節し、決定を押す。

エアオプションの入/切

メニューを押して、お好みの機能を選択し、「ON/OFF」を選択し、決定を押す。



(パルスをOFFにする例、右図で決定を押す。)

脚ストレッチを選択する

脚ストレッチを押して、「ダブルストレッチ/フットストレッチ/ストレッチ/切」を選択し、決定を押す。

肩のエアマッサージの強さを調節・入/切

肩を一度押してから肩を繰り返し押し、調節でき、決定を押す。

肩位置・もみ玉位置を調節

メカ(もみ玉)が肩・背付近にあるとき高さ調節の上下を押して調節し、決定を押す。

腰極もみ・腰極たたき位置を調節

メカ(もみ玉)が腰付近にあるとき高さ調節の上下を押して調節し、決定を押す。

腕もみ/腕つかみを選択する

腕を押して、「腕もみ/腕つかみ」を選択し、決定を押す。

腕のエアマッサージの強さを調節・入/切

腕を一度押してから腕を繰り返し押し、調節でき、決定を押す。

ヒーターを入/切

ヒーターを押す。



ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 次の人は、使用しないでください。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人
(例) 血栓(そく)栓(せん)症、重度の動脈(どうみゃく)脈(みやく)瘤(うぶ)り、急性(きゅうせい)静脈(じやうみやく)脈(みやく)瘤(うぶ)り、各種(かくしゆ)皮膚炎(ひふえん)、皮膚(ひふ)感染症(かんせんしょう)(皮下組織(ひかそくしゆ)の炎症(えんしょう)を含む。)など
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ベースメーカーなどの電磁(でんじ)障害(しやうがい)の影響(えいこう)を受けやすい体内(たい内)植(ち)込み(こみ)型(がた)医(い)用(よう)電(でん)気(き)機(き)器(き)を(を)使(つか)用(よう)し(して)いる人
 - 悪性(あくせい)しゅ(じゆ)よう(腫瘍(しゆりやう))のある人 ● 心臓(しんざう)に障害(しやうがい)のある人 ● 妊(にん)娠(ごん)中(ちゆう)の人(ひと)また(また)は、出(しゅつ)産(さん)直(ちか)後(ご)の人(ひと) ● 糖(とう)尿(にょう)病(びょう)などによる高度(こうた)な末梢(もくせう)循(じゆん)環(わん)障(しょう)害(がい)による知覚(ちかく)障(しょう)害(がい)のある人 ● 皮膚(ひふ)に創傷(そうじゆう)のある人 ● 安(あん)静(じやう)を必要(ひつやう)とする人
 - 体(たい)温(ぬ) 38℃以上(いじょう)(有熱(いうねつ))状態(じたい)の人(ひと)(例(れい): 急性(きゅうせい)炎(えん)症(しょう)状(じやう)[けん(けん) (倦(けん)怠(たい)感(かん)、悪寒(あくかん)、血(けつ)圧(あつ)変(へん)動(どう)など]の強(きやう)い時期(じき)。衰(すい)弱(じやく)して(して)いる時(とき)。)
 - 骨(ほね)粗(こ)しょう(鬆(しょう)症(しょう))の人(ひと)、せきつい(脊(せき)椎(すい))の骨(ほね)折(せつ)り、急性(きゅうせい)[とう(とう) (疼(てい)痛(とう)性(せい))]疾(しやく)患(わん)の人(ひと) ● 背(せ)骨(こつ) (脊(せき)椎(すい))に異常(いじやう)のある人 または、背(せ)骨(こつ)が左(ひだり)右(みぎ)に曲(まが)つて(て)いる人 ● 捻(ねん)挫(さつ)、肉(にく)離(り)れ(れ)など炎(えん)症(しょう)性(せい)の人(ひと) ● 椎(すい)間(かん)板(ばん)ヘルニア(へるにあ)症(しょう)の人(ひと)
 - その他、身体(しんたい)に特(とく)に異常(いじやう)を感じ(かん)じて(いて)いる時(とき)や、医(い)療(りょう)機(き)関(かん)で治(ち)療(りょう)中(ちゆう)の人(ひと) ● 温(ぬ)度(ど)感(かん)覚(かく)喪(さつ)失(しつ)が認(め)ら(れ)る人
- (3) リクライニングするときや脚部(きゃくぶ)を上下(じやうげ)し、伸縮(しんしゆく)するとき、うしろや脚部(きゃくぶ)の前(まえ)、下(した)などに人(ひと)やペ(ペ)ット(と)、物(もの)がないことを確認(かくにん)する。
- (4) 脚部(きゃくぶ)を下(した)げるときは、脚部(きゃくぶ)の下(した)に足(あし)や手(て)をはさまないようにする。また、脚部(きゃくぶ)の下(した)に人(ひと)やペ(ペ)ット(と)、物(もの)がないことを確認(かくにん)する。
- (5) ご使用(ごしゆ)前(まえ)に背(せ)パ(パ)ット(と)を上げて背(せ)もたれ部(ぶ)の力(ちから)カバ(カバ)ー(あ)が破(やぶ)れて(いて)いないか確認(かくにん)し、そ(そ)の他(た)の部分(ぶぶん)にも破(やぶ)れ(れ)か(か)ないか確認(かくにん)する。
(小さな破(やぶ)れ(れ)でも直(ただ)ちに使用(しゆ)を中止(ちゆうし)し、電(でん)源(げん)プ(プ)ラグ(らぐ)を抜(ぬ)き、修(しゆ)理(り)を依(よ)頼(らい)し(して)ください)
- (6) 首(くび)周(しゅう)辺(へん)をマ(マ)ッ(ッ)サ(サ)ー(ー)ジ(ジ)する(する)ときは、も(も)み(み)玉(たま)の動(どう)き(き)に注(ちゆう)意(い)する。また、首(くび)の前(まえ)方(かた)や過(か)度(ど)に強(きやう)いマ(マ)ッ(ッ)サ(サ)ー(ー)ジ(ジ)は(は)し(し)ない。
- (7) 子(こ)供(ご)だ(だ)け(け)で使(つか)せ(せ)たり、自(みづか)ら(ら)で意(い)思(し)表(ひょう)示(し)でき(き)ない人(ひと)には使(つか)せ(せ)ない。また、幼(よ)児(じ)を近づ(ちか)づけない。
- (8) 子(こ)供(ご)に椅(い)子(こ)のう(う)え(え)で遊(あそ)ば(ば)せ(せ)たり、上(う)に乘(の)ら(ら)せ(せ)ない。
- (9) 絶(たつ)対(たい)に改(かい)造(ぞう)し(し)ない。また、ご自(ご)分(ぶん)で分(ぶん)解(かい)し(し)たり、修(しゆ)理(り)を(を)し(し)ない。
- (10) 動(どう)か(か)な(な)く(く)な(な)った(たり)異(い)常(じょう)がある(あ)る(る)場(ば)合(あ)い(い)は(は)す(す)ぐ(ぐ)に電(でん)源(げん)プ(プ)ラグ(らぐ)を抜(ぬ)いて、ご購(ご)入(にゅう)先(せん)に点(てん)検(けん)・修(しゆ)理(り)を(を)依(よ)頼(らい)する。